

取組概要

八幡小学校では、「自分の思いや考えをもち、互いに伝え合うことができる児童の育成」をめざし、学校全体でNIE新聞を活用した学習活動の実践に取り組むとともに、PTAと連携したファミリー読書の充実を図ろうとしている。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆ 令和3年度末の達成状況・取組状況を踏まえた検証・改善により、重点目標を学力向上に焦点化して設定し、学年・教科等ごとの達成指標を設定し客観性を高めている。
- ◆ 2ヶ月に1度、教務主任を中心として、取組指標に基づく取組状況を確認・検証し、改善を進めている。

特徴的な活動

【取組の共通理解を図る】

- ◆ 家庭学習の出し方を共通理解している。(週2回は算・理、週3回は国・算) 家庭学習の内容は授業と連動するものとし、習慣付けるため、その日のうちに教師による点検を行い、指導を重ねている。複数での指導体制を確立し、気付きを教員間で共有している。
- ◆ 金曜日には週末課題として新聞ワークシートを活用している。

関係者の声

- ◆ NIEの取組を進めて1年経過した。子どもたちは、新聞記事から情報を取り出し、自分の考えをつくり、発表し合うなどの活動を通して、「読むのが早くなった」「まとめる力がついた」等の手応えを感じている。また、「友達の発表を聞くのが楽しい」と感じている子どもが多数である。「自分の考えを発表することが楽しい」と感じる児童が増えるように、取組を充実させていく。

学校全体の取組を可視化した資料

令和4年度 1学期 学力向上の取組 佐伯市立 八幡小学校 (R4.4.)

組織としての力を生かし、学力向上の取組を充実させよう

「実態を分析した学習指導の実践」
各種学力テスト、及び、hyper-QUの結果分析をもとに、学年(学級)の課題解決に向けた学習指導を組織的に実践することが不可欠です。
下記の共通課題の解決に向けた取組を実施しましょう。

取組1 授業

「情報の取り出し」を意識した授業実践

- ◆ 教科に記した「情報の取り出し」を位置づけ学習活動を実践する。
- ◆ 国語、社会で視点や目的の明確化に上して、縦を引ながら読ませる。
- ◆ 算数で「わかっていること」などに線を引かせる。
- ◆ 情報の中から、必要となる情報を抜き出し、思考判断表につなげる活動を仕組む。

必要性をもったペア・グループ活動の設定

- ◆ 考えさせたいことや聞きたい力を明らかにした「話し合い」活動を設定する。
- ◆ ペアやグループなど効果を生かしたり、タブレット等ICTを活用したりして、話し合い活動を意識して考えを深めさせる。

授業の終末に、学習内容の定着及び活用力の向上を図る活動を位置づける

- ◆ データベースプリント・過去問題を活用する。
- ◆ 低学力層児童は、学習内容の定着を図るプリントに取組ませる。
- ◆ データベースプリント(たしかなめ)
- ◆ 必要に応じて個別指導を行う。
- ◆ 中・高学力層児童は、活用問題に自主的に取組ませる。
- ◆ データベースプリント(チャレンジ・ハイレベル)・過去問題

取組2 学級づくり

hyper-QUを分析し活用した、落ち着いた学級づくり

hyper-QUの結果分析を踏まえた学級づくりに取組む。

学級の課題を正しく理解した学級集約づくり

学級が必要な児童を正しく理解した学級集約づくり

教員全員が共通理解を促した具体的な取組の実践(学級・学級)

学級担任とサポート教員との連携した指導体制の構築

◎ 毎週火曜日 1・2年：14:20～14:40
3～6年：15:10～15:30

◎ 活用に向けた学習プリントに取組む。主として算数。

- ◆ 算数で問題を書く。
- ◆ ペアで口付けをして、指導者の解説を聞く。
- ◆ ペアで考え合いをする。
- ◆ 算数問題を解く。

◎ 個別指導で指導にあたる。サポート教員の配置は職員室に場所とする。

◎ 問題は、市・県別の学力テストに応じた活用問題とする。

取組4 スキルタイム

課題克服を目的とした短時間での指導

◎ 毎週木曜日 8:00～8:15に「スキルタイム」を設定する。

◎ 短時間(15分間)の中で、課題克服を目的に取組む内容を精査する。

◎ 数教科指導体制とし、担任とサポート教員が個別指導体制で進められてきた複数教科指導体制にあたる。児童への対応にあたる。サポート教員の配置は職員室に場所とする。

取組5 NIE新聞を活用した学習活動

NIE新聞を活用した学習活動を研究し取組む

◎ 毎週月曜日 8:00～8:15に「NIEタイム」を設定する。

◎ 新聞記事のワークシートを活用した学習。(読取り・意見交換)

◎ 読んだ新聞記事に関するスピーチ。

◎ 児童が読んだ新聞記事に対する感想を共有する。

◎ NIEを組入れた授業実践の研究。(授業発表・互見)

取組6 家庭学習

課題克服を目的し、家庭と連携した学習

◎ 年度始めに確認した課題を計画的に取組む

- ◆ 課題の内容や量について共通理解を図る
- ◆ 1週間以内に、1冊以上、課題の課題を出す
- ◆ データベースまたは活用問題を活用する
- ◆ 新聞ワークシートの活用
- ◆ 週に1回以上、新聞ワークシートの課題
- ◎ PTA研修部主催「家庭学習支援週間」と

ファミ読カード



毎週1回取り組むNIEタイム

